

2次交通委員会  
平成30年度取り組み実績

委員長 久保 英弘

観光の側面から2次交通問題について、  
協議を行って参りました。

平成30年度実績

## ■ JR様企業納税を前提とした、周遊バスの検討について

- 周遊バスで、インバウンドを意識しファミリーが使うような新規ルートを検討
- 欧米豪には自然観察の需要があることを前提に、北は奈良俣ダムから西は法師温泉。線をつなぐと90キロになる路線を繋ぐバス運行について協議

⇒原資があれば、バスを運行することができるが、過去の事例を踏まえ、乗車人員、収支が懸案事項となった

## 【結果、以下について実施を協議】

- 顧客ニーズを調査するための、モニターバスの運行  
体験プログラムココイラで販売開始した募集型のツアーアレンジで展開を図っていく
- 顧客ニーズに即した形での「みなかみ周遊バス」の実施
- 観光客の利便性向上のための検討  
スキー場等への直行バス、宿等の共同送迎バス
- 住民の公共交通機関の利用促進のための検討  
路線バスを基本にUber等の新規交通

## ■ みなかみシャトルバス

「水上温泉シャトルバス」を「わくわくバス」に名称を変更し、コースを延伸、料金を1,000円に改定し運行を行った。

チケットにクーポンを付帯させ、飲食店や日帰り入浴の割引を受けられるよう実施する。参加店舗は約40店舗。

また、みなかみ観光ガイド協会が4～11月の運行期間中の毎週日曜日にバスに同乗し、ガイドを行っていただくことになった。

## ■ ミチモ視察（2019年5月）

奈良県明日香村で実施している、超小型モビリティレンタルサービス「MICHIMO（ミチモ）」の視察を行った。

- ・今のところ、ミチモ自体販売が未定になっている
- ・当事業は総務省や国交省の国費で初年度6,000万で立ち上げ、平成27年度には1,600万の赤字と実証実験事業として実施

⇒ミチモが販売になった際に再度検討。他の手段も模索していく



二次交通委員会と  
企画造成委員会は統合します



# 令和元年度 事業予定

## ●路線バスの利用促進

利用促進を図るためにどのようなことができるか調査研究の実施

## ●公共交通機関の利用状況調査

利用状況調査の実施。調査データから今後の施策を協議したい

## ●二次交通を絡めた企画造成の検討

企画造成委員会と共に、どのような企画を立てられるかを協議したい